

	学習内容	学習者の習得内容
初級	<p>心身のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識として ・自身の感覚として <p>他者との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達 ・関係発達 ・発達資産 <p>手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演劇的手法 ・遊び <p>4つのカテゴリー</p> <p>基本理念</p> <p>ファシリテーション</p>	<p>心身のつながりの重要性について知識・感覚として理解している。</p> <p>他者との関わりの重要性について理解している。</p> <p>手法について理解している。</p> <p>4つのカテゴリーを知っている。</p> <p>基本理念を知っている。</p> <p>ファシリテーターとティーチャーの違いを知っている。</p>
中級 I	<p>ファシリテーション I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念の深化も含めて ・ファシリテーションについて知る。 ・ファシリテーションとは <p>ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手法の深化も含めて ・ワークショップについて知る。 ・ワークショップとは <p>ねらいや目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の特性を知る。 ・個人/集団 ・全体のねらいや目標の設定の仕方を知る。 ・集団の目標設定 ・個人の目標設定 ・終着点の設定および各回の目標設定 <p>働き/効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの働きや効果について知る。 ・アクティブメニューの効果とメリット/デメリットを知る。 <p>プロセスデザイン I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのカテゴリーの深化も含めて ・構成の仕方を知る。 ねらい目標→アクティブメニューの順 <p>ふりかえり I (リフレクション I)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえり(リフレクション)について知る。 ・ふりかえり(リフレクション)とは 	<p>ファシリテーションの概要を説明できる。 ファシリテーターの立場を理解している。</p> <p>ワークショップの概要を説明できる。</p> <p>ねらいや目標の設定ができる。</p> <p>プログラムの働きや効果について説明できる。 アクティブメニューの研究が独自にできる。</p> <p>プロセスのデザインの方法を理解している。 プロセスのデザインができる。</p> <p>ふりかえりの重要性について理解している。</p>
中級 II	<p>ファシリテーション II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーションスキルを身に付ける。 ・声かけ <ul style="list-style-type: none"> ・働き/効果、ふりかえり I を踏まえて ・グルーピング <ul style="list-style-type: none"> ・働き/効果、ふりかえり I を踏まえて ・フォーカスコントロール <p>ふりかえり II (リフレクション II)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえり(リフレクション)スキルを身に付ける。 ・問い方 <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーション II を踏まえて ・共有(シェア) <p>プロセスデザイン II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりを含めた全ての構成を身に付ける。 ・リプラン、リメイク 	<p>声かけがどのような働き/効果があるかを知っている。 効果的な声かけができる。 効果的なグルーピングができる。 フォーカスの働きについて知っている。 フォーカスのコントロールができる。</p> <p>効果的なふりかえりができる。</p> <p>全体の構成、各回の構成の全てを作成できる。 即興的に再度構成を組み立てることができる。 アクティブメニューを変化、創造できる。</p>